

(様式2(1))

サンホームみかづきグループホーム

作成日: 平成 22年 5月7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	言葉かけや対応が年長者である利用者に対し慣れ合い、または、同等な立場での対応になることがある為、職員間で話し合い自分自身を振り返る必要がある	一人ひとりの人格を尊重した対応について常に話し合い、利用者本位のケアを行っていく	利用者の視点に立った姿勢、接遇マナーを含めたケアについて継続的に話し合いを行っていく	12ヶ月
2	26	アセスメント→計画立案→見直しのサイクルの実践が不十分である。定期的に行い些細な変化がないか確認を行っていく必要がある	定期的カンファレンス・モニタリングを行っていき計画立案に結び付ける	短時間でも話し合いの時間を作りカンファレンス・モニタリングをおこなう。担当職員が中心となりご本人、内外の関係者の意見を含めて職員間で話し合い計画立案する	12ヶ月
3	10	ご家族については、面接時に伺い、意見箱の設置と苦情に対する窓口があるが今後の分析、結果を報告し、取り組む必要がある	利用者の意見や外部からの意見を出させる仕組みを作る。クレーム対応だけでなく、原因を探りケアの向上を目指す	なんでも言ってもらえる雰囲気作りをする。又、意見について職員間で話し合いケアに反映させていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。